



みんなで守ろう！ 私たちの足 公共交通



詳細 まちづくり推進課 ☎(84) 4071

皆さんは、公共交通を利用していますか？

鉄道やバス、タクシーなどの公共交通機関は、利用者が年々減少しています。

数年後、十数年後の「私たちの足」を守るためにも、今から公共交通を継続して利用することが重要です。

ぜひ公共交通を利用しましょう！

ますます高まる公共交通の役割

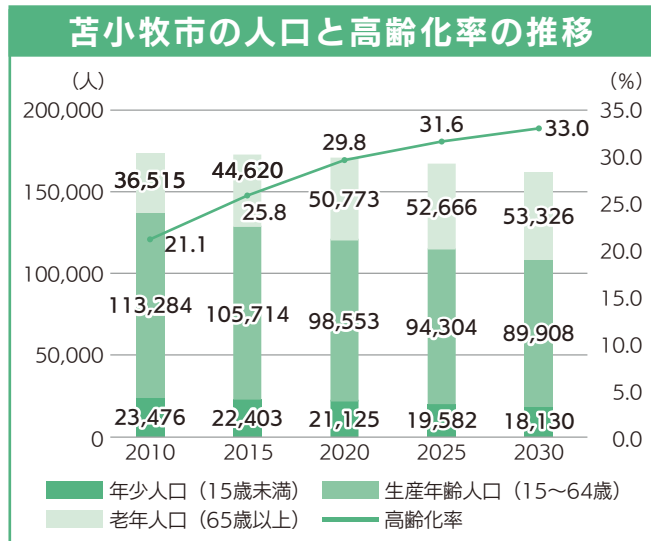
少子高齢化が進む中、免許返納などにより自分で車を運転しなくなった方や、車を持たない方の交通手段の確保が全国的な課題となっています。

市でも今後、年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口が増加し、少子高齢化が進むことが予想されています（右図）。

こうした課題に対し、地域公共交通の在り方や活性化、維持を図るための方策などについて、三位一体（事業者、行政、市民・利用者）で取り組むため、今年6月に、持続可能な公共交通網の形成に向けた「苫小牧市地域公共交通計画」を策定しました。

公共交通機関は買い物や通院、通勤・通学の際に安心して利用できる交通手段であり、東西に約40キロと長い苫小牧市では、ますます公共交通の果たす役割が高まっていくことが考えられます。

新型コロナウイルスの影響もあり、利用者の減少が進み交通事業者にとって厳しい状況となっていますが、各事業者は勤務体制の見直しや運行本数の調整などにより、公共交通サービスの維持に努めています。



出どころ：第2期苫小牧市人口ビジョンおよび総合戦略の数値を基に作成

通院・通勤・通学の足「鉄道」はどうか？

市には、室蘭線、日高線、千歳線の3路線が乗り入れています。そのうち、室蘭線（沼ノ端一岩見沢間）と日高線（苫小牧一鶴川間）については、利用者が少なく老朽化などによる維持管理費もかさみ、平成28年には、今後鉄道事業者のみで維持していくことが難しいという考え方（「当社単独では維持することが困難な線区」）が、JR北海道から示されました。

また、今年4月1日には、「当社単独では維持することが困難な線区」のうち日高線（鶴川一様似間）が廃止され、バス転換となりました。

路線を維持するためには、利用者の増加に向けた取り組みが必要です。JR北海道、北海道と沿線自治体が連携し、利用促進に向けた取り組みを進めています。

